

(令和3年11月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>11月の総入荷量は、朝晩の冷え込みにより果菜類が入荷減となったことに加えて、夏季の北海道の干ばつ等でばれいしょやたまねぎが不作傾向となったため、前年同月比で4%下回った。総取扱金額は、葉菜類が安値で推移した前年から回復し、りんご類や柿類の品薄感が強まったため、3%上回った。今後は、冬季の冷え込みが予想される中で、燃油高により加温栽培を控える産地も出てくるなど、暖冬で潤沢な入荷となった前年とは対照的な状況になることが見込まれる。</p> <p>12月は、年末商材であるくわいや頭いも、雑煮大根、葉付みかん、串柿等が入荷する。また、堀川ごぼう等の根菜類や海老いも等の土物類及び干柿類の入荷が最盛期を迎える。早生みかんは徐々に普通みかんに切り替わり、いちご類がクリスマスや年末の需要に向けて増加する。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は4%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が低かったため11%下回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は安値で推移した品目が多かった前年同月と比べて6%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は冷え込みの影響により生育が鈍化したため前年同月比で10%下回ったが、単価は前年同月並みであった。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は47%上回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量はかんきつ類やメロン類で潤沢な入荷となったため前年同月比で5%上回ったが、単価は品薄感が強まったりりんご類や柿類が高値で推移したため10%上回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は九州産地の前進傾向により前年同月比で4%上回ったが、単価は需要が高かったため3%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は31%上回った。</p>

	<p>柿類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は7%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で78%上回り、単価は25%下回った。</p>
--	--

主要品目（野菜）	市況の概況
<p><b>【根菜類】</b></p> <p>長だいこん</p> <p>かぶ</p> <p>西洋にんじん</p>	<p>千葉，徳島，長崎，石川，岩手などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため9%下回った。</p> <p>京都を中心に北海道，滋賀からも入荷した。入荷量は前年に不作であった北海道産が回復したため前年同月比で11%上回ったが，単価は前年同月並みであった。</p> <p>北海道を中心に青森，長崎，愛知，鳥取などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため27%下回った。</p>
<p><b>【葉菜類】</b></p> <p>はくさい</p> <p>キャベツ</p> <p>ほうれんそう</p> <p>レタス</p>	<p>茨城を中心に長野，滋賀，岡山，鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は安値で推移した前年同月と比べて37%上回った。</p> <p>愛知を中心に茨城，長野，滋賀，千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で3%上回ったが，単価は安値で推移した前年同月と比べて17%上回った。</p> <p>京都，茨城，岐阜，福岡，滋賀などから入荷した。入荷量は天候不順の影響により前年同月比で12%下回ったが，単価は前年同月並みであった。</p> <p>兵庫，茨城，徳島，長崎，滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は安値で推移した前年同月と比べて9%上回った。</p>

**【果菜類】**

きゅうり

宮崎を中心に滋賀，高知，佐賀，福岡などからも入荷した。入荷量は関東産地が冷え込みの影響で入荷減となったため前年同月比で9%下回ったが，単価は需要が低かったため4%下回った。

なす

高知を中心に岡山，京都，徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り，単価は3%上回った。

とまと

熊本，滋賀，福岡，茨城，京都などから入荷した。入荷量は前年同月比で14%下回り，単価は6%上回った。

ピーマン

宮崎，高知，茨城，韓国，大分などから入荷した。入荷量は前年同月比で5%上回り，単価は18%下回った。

**【土物類】**ばれいしょ  
(メイクイン含む)

北海道から入荷した。入荷量は前年同月比で12%下回り，単価は29%上回った。

たまねぎ

北海道を中心に兵庫，アメリカ，中国，佐賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で23%下回り，単価は124%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
早生みかん	和歌山を中心に熊本，福岡，香川，大分などからも入荷した。入荷量は九州産地の生育が早まり入荷が前倒しとなったため前年同月比で9%上回ったが，単価は他品目が品薄のなか需要が高かったため4%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森，長野を中心に岩手，山形，秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で17%下回り，単価は38%上回った。
富有柿	奈良を中心に福岡，京都，鳥取，和歌山からも入荷した。入荷量は前年同月比で6%下回り，単価は9%上回った。
アールスメロン	長崎，静岡，高知，オーストラリアから入荷した。入荷量は前年同月比で44%上回り，単価は22%下回った。